



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月13日

上場会社名 株式会社コナラ 上場取引所 東
コード番号 4176 URL <https://coconala.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木 歩
問合せ先責任者 (役職名) VP of Finance and Corporate Planning (氏名) 国原 啓司 TEL 03(6712)7771
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2026年11月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の連結業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	10,316	9.6	492	92.4	502	121.0	380	24.0
2025年8月期	9,410	42.8	256	△16.0	227	0.7	306	25.9

（注）包括利益 2026年8月期 380百万円（45.3%） 2025年8月期 262百万円（149.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	16.95	16.58	17.5	7.6	4.8
2025年8月期	13.07	12.77	14.6	3.1	2.7

（参考）持分法投資損益 2026年8月期 一百万円 2025年8月期 △0百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	6,822	2,812	34.2	104.09
2025年8月期	6,325	2,417	31.8	89.10

（参考）自己資本 2026年8月期 2,334百万円 2025年8月期 2,011百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	832	△275	△93	3,399
2025年8月期	255	△481	△742	2,936

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	26.0	600	21.8	600	19.5	480	26.2	21.41

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社フレームキャリア、 除外 ー社 (社名) ー

(注) 詳細は、添付資料17ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	24,076,900株	2025年8月期	24,047,300株
2026年8月期	1,654,390株	2025年8月期	1,468,853株
2026年8月期	22,448,756株	2025年8月期	23,477,235株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	6,523	9.0	530	35.2	562	40.7	461	7.0
2025年8月期	5,984	13.1	392	△15.4	400	△14.8	431	47.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当 期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	20.54	20.09
2025年8月期	18.36	17.94

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	6,431	3,063	40.3	115.49
2025年8月期	5,868	2,587	37.3	96.85

(参考) 自己資本 2026年8月期 2,589百万円 2025年8月期 2,186百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報等の注記)	13
(継続企業の前提に関する注記)	16
(連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	16
(1株当たり情報の注記)	17
(連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更に関する注記)	17
(重要な後発事象の注記)	18

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社グループにおきましては、「一人ひとりが『自分のストーリー』を生きていく世の中をつくる」をビジョンに掲げ、EC型のサービスマーケットプレイスである「ココナラスキルマーケット」の他、エージェント型サービスである「ココナラテック」や「ココナラアシスト」等を展開しております。当社グループは日常的に行われているあらゆる取引のマッチングを行う唯一無二のサービスプラットフォームとなることを目指しております。

当社グループがターゲットとする個人・企業間サービスにおいては、潜在市場規模は約37兆円と非常に大きい一方（日本総合研究所による推定値）、オンラインで取引される比率は1％程度と推定されています（情報通信総合研究所による推定値）。オンラインでのサービス取引は、人生100年時代の到来や働き方改革でライフスタイルが従来とは大きく変化する中、社会的にも重要性の高い市場と考えております。

また、生成AIやAIエージェントの普及により、個人・企業がサービスを探し、発注する手段も変化しつつあり、当社グループはこれを新たな取引機会につながる変化と捉えております。

当連結会計年度は、「ココナラスキルマーケット」において生成AI対応のスキルを持った方々がより活躍できる領域の開拓を目的にカテゴリのリニューアルを行った他、役務提供プラットフォームとして日本初となるChatGPTアプリ「ココナラ for ChatGPT」の提供及びAnthropic社の「Claude」への対応を開始するなど、AIを起点とした新たな取引機会の創出を進めました。また、「エージェント」においては、SES（システムエンジニアリングサービス）事業を展開する株式会社フレームキャリアを2026年3月2日付で子会社化し、事業規模を拡大しました。加えて、顧客・社内の両面でAIの活用を推進し、サービス提供の効率化と生産性の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の流通総額は16,884,989千円（前期比2.0％減）、売上高は10,316,614千円（前期比9.6％増）、営業利益は492,704千円（前期比92.4％増）、経常利益は502,200千円（前期比121.0％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は380,465千円（前期比24.0％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①マーケットプレイス

「マーケットプレイス」においては、「ココナラスキルマーケット」、「ココナラ募集」及び「ココナラ法律相談」が着実に成長しました。「ココナラスキルマーケット」では、購入者の利便性向上と更なる出品の拡大を図るため、サービスカテゴリのリニューアルを実施しました。また、2026年6月には「ココナラ for ChatGPT」及び発注内容の整理を支援する「発注AIアシスタント」の提供を開始し、2026年8月には「Claude」への対応を開始するなど、生成AIを通じた新たな集客・発注導線の整備を進めました。

この結果、売上高は5,666,144千円（前期比1.0％減）、セグメント利益は392,267千円（前期比29.4％減）となりました。

②エージェント

「エージェント」においては、「ココナラアシスト」が成長を続けている他、株式会社ココナラテックにおいても営業効率が改善し、売上が拡大しました。また、2026年3月にSES事業を展開する株式会社フレームキャリアを子会社化しており、いずれの事業においてもAIを用いて業務プロセスを改善し、生産性の向上に努めております。

この結果、売上高は4,650,469千円（前期比26.0％増）、セグメント利益は100,436千円（前期は278,923千円のセグメント損失）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末より497,438千円増加し、6,822,672千円となりました。これは主に、現金及び預金が463,585千円増加したほか、株式会社フレームキャリアの連結子会社化に伴いのれんが98,492千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は前連結会計年度末より102,002千円増加し、4,009,974千円となりました。これは主に、未払金が139,762千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は前連結会計年度末より395,436千円増加し、2,812,698千円となりました。

これは主に、利益剰余金が380,465千円増加したこと等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、3,399,586千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、832,536千円の収入（前期は255,082千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益502,200千円の計上、未払金の増加125,000千円、のれん償却額97,750千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、275,041千円の支出（前期は481,589千円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出186,249千円、投資有価証券の取得による支出50,072千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、93,908千円の支出（前期は742,816千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金による収入250,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出226,576千円、自己株式の取得による支出99,981千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループは短期的な利益成長ではなく中長期的な観点で高い成長率を実現できるよう、プロダクト開発、事業開発、M&A及びマーケティング投資を継続していきます。2027年8月期は、売上高13,000,000千円（前期比26.0%増）、営業利益600,000千円（前期比21.8%増）、経常利益600,000千円（前期比19.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益480,000千円（前期比26.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,936,000	3,399,586
売掛金	874,589	944,601
前払費用	187,444	132,902
その他	250,107	162,102
流動資産合計	4,248,143	4,639,193
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,483	261,794
工具、器具及び備品	106,358	104,046
建設仮勘定	—	24,750
減価償却累計額	△188,945	△240,439
有形固定資産合計	178,896	150,151
無形固定資産		
ソフトウェア	15,331	23,305
のれん	919,735	1,018,228
顧客関連資産	317,335	256,364
無形固定資産合計	1,252,402	1,297,897
投資その他の資産		
投資有価証券	—	50,072
長期前払費用	5,156	17,564
差入保証金	500,227	480,347
繰延税金資産	134,530	138,187
その他	3,778	48,178
投資その他の資産合計	643,693	734,350
固定資産合計	2,074,992	2,182,399
繰延資産		
株式交付費	587	—
社債発行費	1,511	1,079
繰延資産合計	2,098	1,079
資産合計	6,325,234	6,822,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	270,457	309,661
未払金	446,226	585,989
未払費用	75,532	39,937
未払法人税等	57,098	103,176
前受金	722,364	674,915
預り金	882,360	790,860
1年内返済予定の長期借入金	209,988	247,220
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
賞与引当金	2,224	34,092
ポイント引当金	2,320	1,982
クーポン引当金	8,742	8,932
その他	80,918	110,602
流動負債合計	2,778,232	2,927,370
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	934,201	923,768
繰延税金負債	98,543	81,753
資産除去債務	36,995	37,082
固定負債合計	1,129,739	1,082,604
負債合計	3,907,972	4,009,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,255,356	1,258,268
資本剰余金	1,019,123	1,021,060
利益剰余金	255,323	635,789
自己株式	△518,109	△581,116
株主資本合計	2,011,693	2,334,001
新株予約権	401,116	473,908
非支配株主持分	4,452	4,787
純資産合計	2,417,262	2,812,698
負債純資産合計	6,325,234	6,822,672

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	9,410,783	10,316,614
売上原価	3,286,934	3,849,405
売上総利益	6,123,848	6,467,208
販売費及び一般管理費	5,867,727	5,974,504
営業利益	256,121	492,704
営業外収益		
受取利息	4,930	7,345
受取還付金	2,174	2,331
雑収入	3,047	—
受取損害賠償金	4,395	3,758
経営指導料	7,727	—
債務勘定整理益	—	4,253
消費税等差額	—	9,173
その他	4,528	6,022
営業外収益合計	26,804	32,884
営業外費用		
支払利息	14,697	18,666
投資有価証券評価損	30,000	—
持分法による投資損失	207	—
その他	10,743	4,720
営業外費用合計	55,648	23,387
経常利益	227,276	502,200
特別損失		
子会社株式売却損	1,409	—
特別損失合計	1,409	—
税金等調整前当期純利益	225,867	502,200
法人税、住民税及び事業税	86,883	137,017
法人税等調整額	△120,926	△15,617
法人税等合計	△34,042	121,399
当期純利益	259,909	380,801
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失 (△)	△46,995	335
親会社株主に帰属する当期純利益	306,904	380,465

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	259,909	380,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,240	—
その他の包括利益合計	2,240	—
包括利益	262,149	380,801
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	306,918	380,465
非支配株主に係る包括利益	△44,768	335

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,244,957	2,390,553	△1,433,410	—	2,202,100
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	5,411	5,411			10,822
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	4,988	4,988			9,976
親会社株主に帰属する当期純利益			306,904		306,904
自己株式の取得				△518,109	△518,109
自己株式の処分					
欠損填補		△1,381,828	1,381,828		—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	10,399	△1,371,429	1,688,733	△518,109	△190,406
当期末残高	1,255,356	1,019,123	255,323	△518,109	2,011,693

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	107	107	243,423	1,340,454	3,786,085
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					10,822
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）					9,976
親会社株主に帰属する当期純利益					306,904
自己株式の取得					△518,109
自己株式の処分					—
欠損填補					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△107	△107	157,692	△1,336,001	△1,178,416
当期変動額合計	△107	△107	157,692	△1,336,001	△1,368,823
当期末残高	—	—	401,116	4,452	2,417,262

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,255,356	1,019,123	255,323	△518,109	2,011,693
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	2,912	2,912			5,824
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）					
親会社株主に帰属する当期純利益			380,465		380,465
自己株式の取得				△99,981	△99,981
自己株式の処分		△974		36,974	35,999
欠損填補					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	2,912	1,937	380,465	△63,007	322,308
当期末残高	1,258,268	1,021,060	635,789	△581,116	2,334,001

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	—	401,116	4,452	2,417,262
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					5,824
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）					—
親会社株主に帰属する当期純利益					380,465
自己株式の取得					△99,981
自己株式の処分					35,999
欠損填補					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			72,792	335	73,127
当期変動額合計			72,792	335	395,436
当期末残高	—	—	473,908	4,787	2,812,698

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	225,867	502,200
減価償却費	64,651	84,742
繰延資産償却額	3,954	1,018
のれん償却額	87,938	97,750
顧客関連資産償却費	60,971	60,971
差入保証金償却額	10,623	19,930
投資有価証券評価損益 (△は益)	30,000	—
株式報酬費用	164,916	89,568
受取利息	△4,930	△7,345
支払利息	14,784	18,753
持分法による投資損益 (△は益)	207	—
子会社株式売却損益 (△は益)	1,409	—
売上債権の増減額 (△は増加)	56,260	△33,499
前払費用の増減額 (△は増加)	△95,563	53,063
長期前払費用の増減額 (△は増加)	4,759	11,592
仕入債務の増減額 (△は減少)	△105,057	39,203
未払金の増減額 (△は減少)	△4,072	125,000
未払費用の増減額 (△は減少)	△22,147	△44,154
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△11,647	5,718
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△60,423	14,089
前受金の増減額 (△は減少)	107,067	△47,448
預り金の増減額 (△は減少)	△178,985	△91,829
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,224	19,993
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	401	△337
クーポン引当金の増減額 (△は減少)	2,754	189
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△285	23,590
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△58	—
その他	6,838	△1,225
小計	362,460	941,538
利息の受取額	4,930	7,345
利息の支払額	△14,697	△18,666
保険積立金の受取額	17,500	—
法人税等の支払額	△115,110	△97,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	255,082	832,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,979	△42,793
無形固定資産の取得による支出	△10,737	△17,212
投資有価証券の取得による支出	—	△50,072
差入保証金の差入による支出	△268,647	—
差入保証金の回収による収入	58,571	21,286
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△186,249
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△254,795	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,589	△275,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△215,786	△226,576
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,822	2,502
新株予約権の発行による収入	257	145
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△518,109	△99,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△742,816	△93,908
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△969,322	463,585
現金及び現金同等物の期首残高	3,905,323	2,936,000
現金及び現金同等物の期末残高	2,936,000	3,399,586

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別の事業部を置き、各事業部のサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「マーケットプレイス」及び「エージェント」の2つを報告セグメントとしております。

「マーケットプレイス」は、個人の知識・スキル・経験に基づくサービスを売買するスキルのマーケットプレイス「ココナラスキーマーケット」、一人ひとりにあった弁護士が見つかる検索メディア「ココナラ法律相談」等を運営しております。

「エージェント」は、ITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐ「ココナラテック」、優秀なアシスタントがビジネスをサポートする月額制サービス「ココナラアシスト」、トップクリエイターと企業のマッチングを創出する「ココナラプロ」等を運営しております。

(報告セグメントの変更)

前連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社クレストスキルパートナーズ（旧株式会社ココナラスキーマーパートナーズ）の全保有株式を譲渡したため、株式会社クレストスキルパートナーズ（旧株式会社ココナラスキーマーパートナーズ）及びその子会社であるCSP1号投資事業有限責任組合は、当社の連結の範囲から除外しております。これにより、当連結会計年度から「その他」の区分を廃止しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計（注2）
	マーケット プレイス	エージェント	計		
売上高					
一時点で移転される財	4,982,395	—	4,982,395	—	4,982,395
一定の期間にわたり移転される財	738,323	3,690,065	4,428,388	—	4,428,388
顧客との契約から生じる収益	5,720,718	3,690,065	9,410,783	—	9,410,783
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,720,718	3,690,065	9,410,783	—	9,410,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,720,718	3,690,065	9,410,783	—	9,410,783
セグメント利益	555,411	△278,923	276,488	△20,367	256,121
その他の項目					
減価償却費	32,174	32,477	64,651	—	64,651
のれん償却額	—	87,938	87,938	—	87,938
顧客関連資産償却費	—	60,971	60,971	—	60,971

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書上の営業利益と一致しております。
3. セグメント資産及び負債の金額は、当社グループの最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計（注1）
	マーケット プレイス	エージェント	計	
売上高				
一時点で移転される財	4,816,909	—	4,816,909	4,816,909
一定の期間にわたり移転される財	849,235	4,650,469	5,499,705	5,499,705
顧客との契約から生じる収益	5,666,144	4,650,469	10,316,614	10,316,614
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,666,144	4,650,469	10,316,614	10,316,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,666,144	4,650,469	10,316,614	10,316,614
セグメント利益	392,267	100,436	492,704	492,704
その他の項目				
減価償却費	51,160	33,582	84,742	84,742
のれん償却額	—	97,750	97,750	97,750
顧客関連資産償却費	—	60,971	60,971	60,971

- (注) 1. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書上の営業利益と一致しております。
2. セグメント資産及び負債の金額は、当社グループの最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
現金及び預金勘定	2,936,000千円	3,399,586千円
現金及び現金同等物	2,936,000千円	3,399,586千円

（1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	89.10円	104.09円
1株当たり当期純利益	13.07円	16.95円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12.77円	16.58円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	306,904	380,465
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	306,904	380,465
普通株式の期中平均株式数（株）	23,477,235	22,448,756
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （千円）	—	—
普通株式増加数（株）	553,741	502,215
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含 まれなかった株式の概要	新株予約権3種類 （新株予約権の数13,543個 （普通株式1,354,300株））	新株予約権4種類 （新株予約権の数133,084個 （普通株式1,471,366株））

（連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当連結会計年度において、株式会社フレームキャリアの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

（重要な後発事象の注記）

（取得による企業結合）

当社は、2026年10月7日開催の取締役会において、Acrosstudio株式会社（以下「対象会社」といいます。）の株式を取得し子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。なお、株式譲渡実行日は2026年10月30日を予定しております。

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Acrosstudio株式会社

事業の内容 AIコンサルティング及びAI開発

（2）企業結合を行う主な理由

当社は2026年9月1日付でカンパニー制を導入し、その一つとしてAIカンパニーを設けております。対象会社は、課題整理を担うコンサルティング力、本番システムまで構築するAI実装力、顧客の現場で定着・内製化まで伴走するFDE（Forward Deployed Engineer）型の支援力を一体で提供するAI実装型コンサルティングファームであります。対象会社を子会社化し、AIカンパニーの中核として、その実装力を当社グループの顧客基盤及び人材基盤と組み合わせることで、AIコンサルティング、AI開発・導入支援に加え、AI BPO事業にも領域を広げ、当社グループの企業価値の向上を図ることを目的としております。

（3）企業結合日

2026年10月30日（予定）

（4）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

（5）結合後企業の名称

変更はありません。

（6）取得する議決権比率

51%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として対象会社の議決権の51%を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 867百万円

取得原価 867百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等（概算額） 5百万円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。